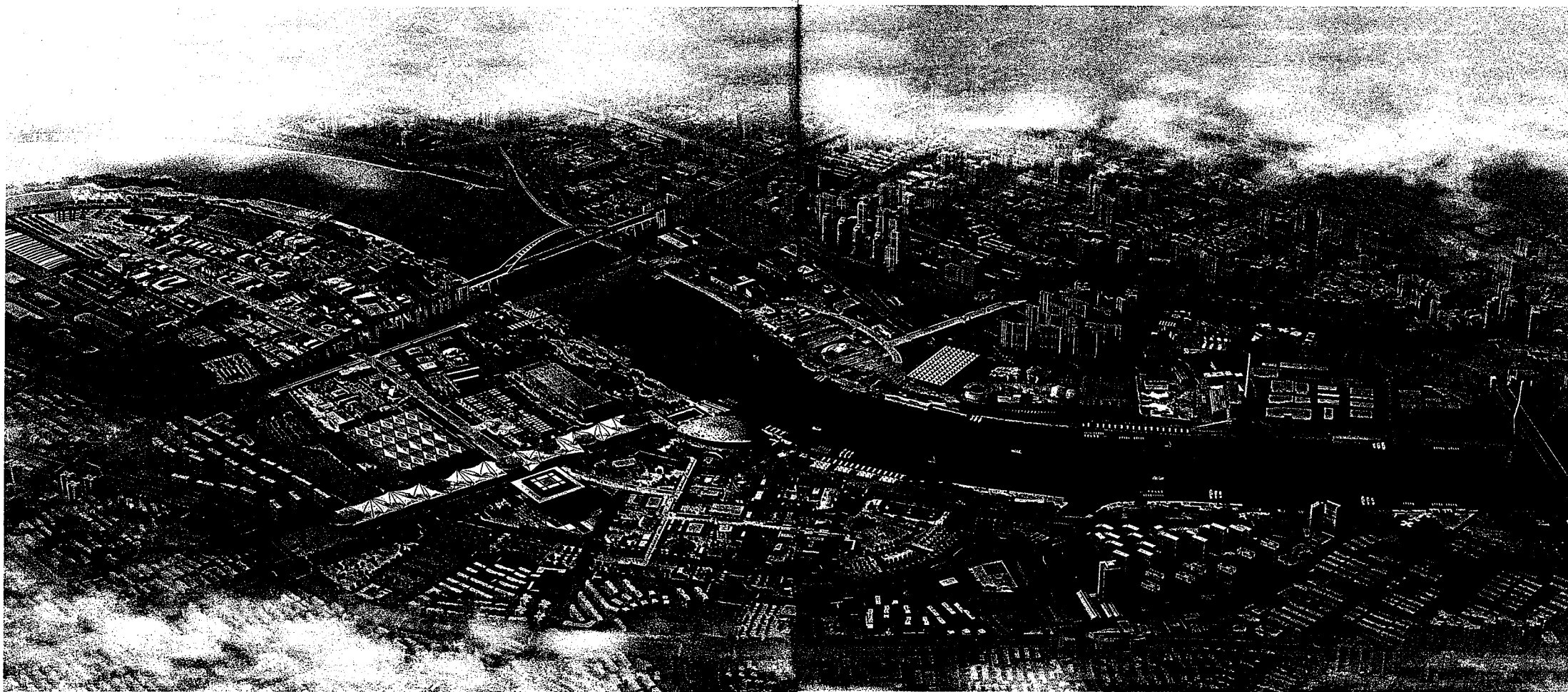
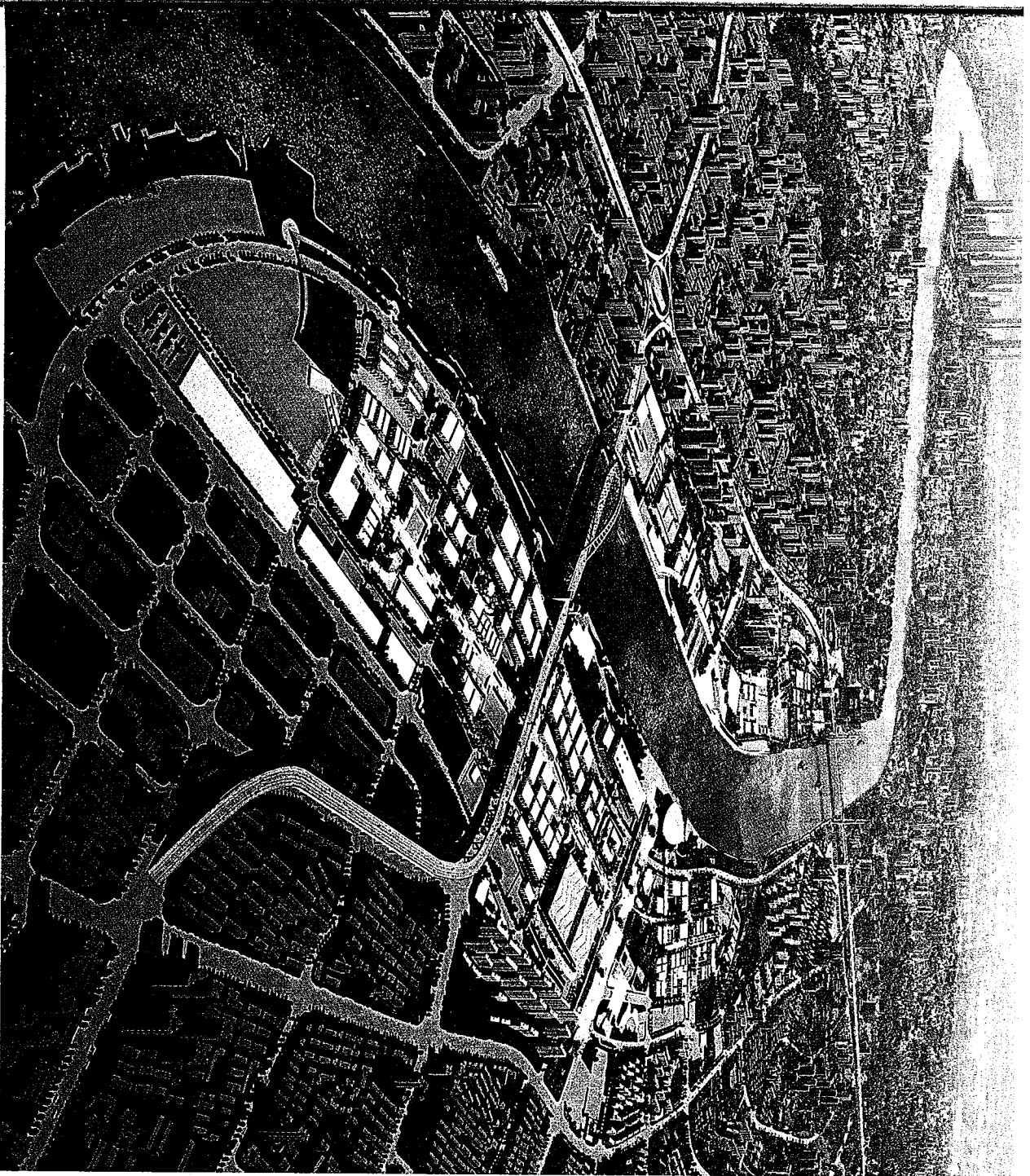


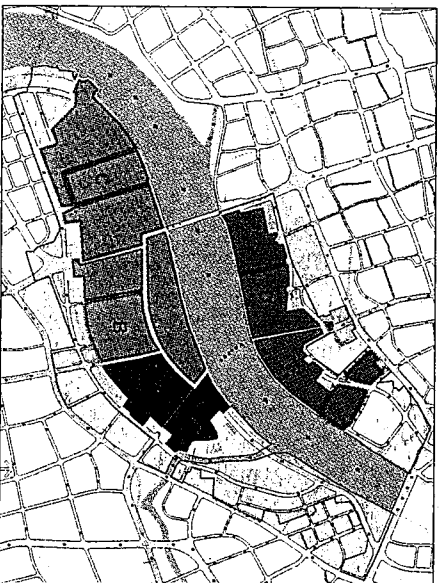
城市,让生活更美好
より良い都市、より良い生活



中国2010年上海万博会場鳥瞰イメージ図



上海万博の開催地は上海市の中心地で、主に南浦大橋と盧浦大橋の間の川沿いの地区、黄浦江兩岸に位置します。会場はA、B、C、D、Eという5つのゾーンに分かれており、そのうちA、B、Cという3つのゾーンが浦東地区に、D、Eという2つのゾーンが浦西地区に置かれます。



Bゾーン	主に都市の人間性、都市の生命線、都市の繁栄線、そして一部のアジア諸国のパビリオンとオセアニアの国のパビリオン、国際機関のパビリオンなどが配置されます。
Dゾーン	主に都市の未来像、企業像、ベストプラクティスなどが配置されます。

パビリオンは上海万博の中心的な展示施設で、主にテーマ館、国家館、国際機関館、企業館、ベストシティ実践区などがあります。各種パビリオンのさまざまな展示内容が世界の観客に、上海万博の「より良い都市、より良い生活」というテーマ理念を伝えることになるでしょう。

テーマ館

上海万博には「都市の人間館」「都市の生命館」「都市の惑星館」「都市の足跡館」「都市の未来館」という5つのテーマ館があります。

「都市の人間館」「都市の生命館」「都市の惑星館」の3つのテーマ館は浦東地区のBゾーンのテーマ館の中にあります。この建物は上海万博の重要なランドマークのひとつで、その外形は「折り紙」をモチーフにしたものであり、奇妙な立体的な構造をしています。屋上には上海の伝統的な「老虎窓（屋根の小窓）」を模倣したもので、前が開

いて、後ろが斜めになっており、伝統的な石庫門建築の魅力を表現しています。この建物内の東展示ホールが「都市の人間館」で、西展示ホールの北半分が「都市の生命館」、南半分が「都市の惑星館」となっています。テーマ館の南広場、北広場、すりばち状広場では、会期中各種のイベントや式典が行われます。

「都市の足跡館」と「都市の未来館」は浦西のDゾーンとEゾーンにあり、昔の工場を改造したもので、伝統と現代の交錯する斬新な空間となっています。

都市の人間館

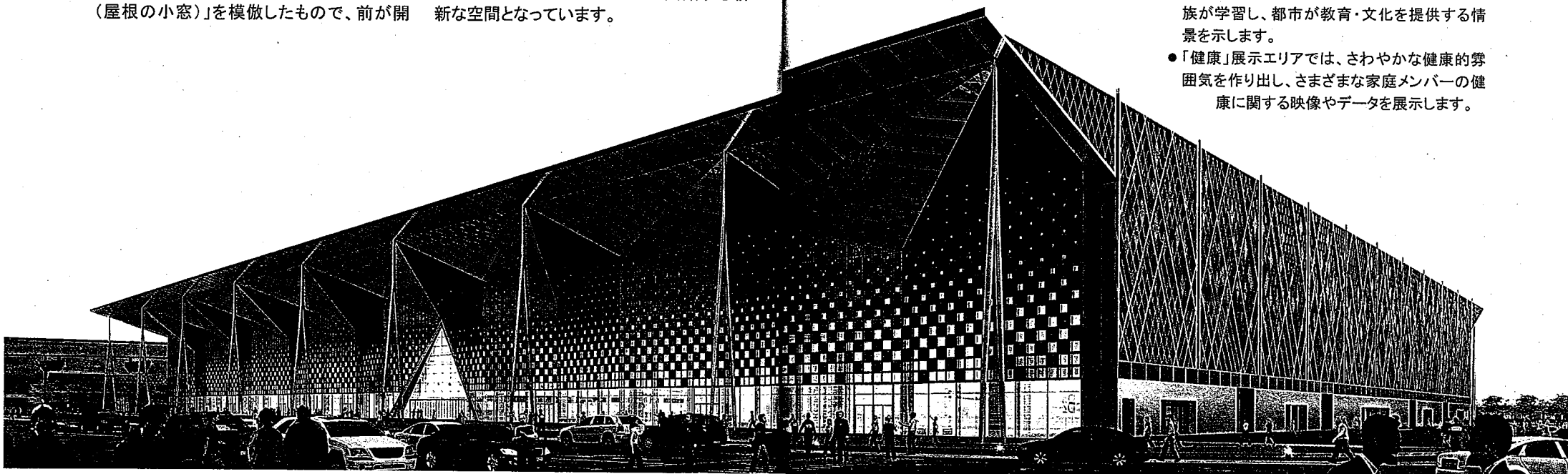
テーマ 人間の全面的な発展は都市の持続可能な発展の前提となる

このパビリオンはBゾーンのテーマ館の中にあり、人々のニーズと発展を中心に、都市の中の「人の物語」を語ります。世界五大陸の6つの都市の6つの家庭の生活ドキュメンタリーを撮り「家庭」「仕事」「交際」「学習」「健康」という5つの展示エリアの中に彼らの物語をはめ込みます。実物展示や模型、マルチメディアなどの手段を織り交ぜ、11の都市の景観のなかでその都市にいるかのような感覚を作り出し、都市の人々のさまざまなニーズを理解し、「人々が都市に留まるのは、より良い生活を求めるからである」ということを体験しましょう。

- 「家庭」展示エリアでは、天井と床板を鏡張りにしてあり、6つの家庭の生活情景を組み合わせで合成した3D立体のぞきからくり箱とし、建物の窓に似せたのぞき口から6つの家庭の生活風景を見ます。

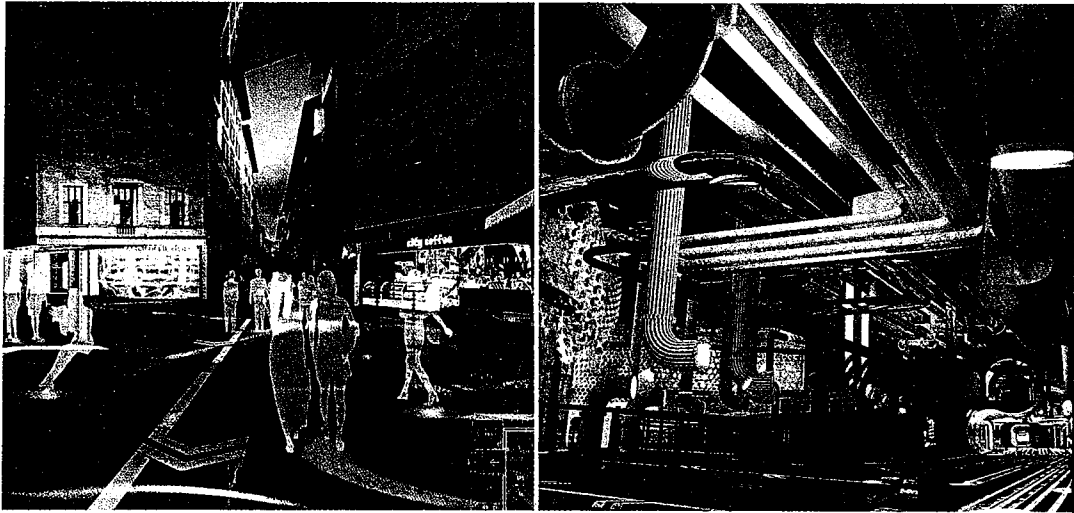


- 「仕事」展示エリアでは、「工場・証券取引所・時計」とされる大型機械が設置され、上部にはたくさんの大きさの異なるスクリーンがあり、さまざまな都市の人々の仕事の様子が映し出されます。
- 「交際」展示エリアでは、ドーム型360°パノラマ映写機でさまざまな家族メンバーの交際ネットワークを映します。
- 「学習」展示エリアでは、展示品と映写機で、伝統的な教室や図書館の雰囲気を作り出し、家族が学習し、都市が教育・文化を提供する情景を示します。
- 「健康」展示エリアでは、さわやかな健康的雰囲気を作り出し、さまざまな家族メンバーの健康に関する映像やデータを展示します。



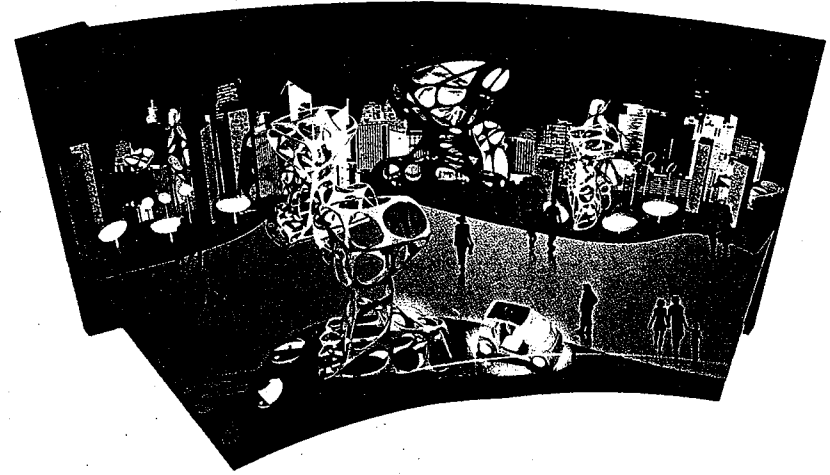
都市の生命館

テーマ 都市は生命体のように、都市の生命健康は人類が共同で愛護していく



このパビリオンはBゾーンのテーマ館の中にあり、「生命」を軸とした都市の「生命の旅」に誘います。館内ではハイテク手段で、都市はひとつの生命体のように、生命の構造と魂をもつことを語ります。都市は絶えず代謝や循環を行い、精神の力によって、人と都市の間で都市の生命の調和を保つ絶え間ない調整と維持が行われ、都市の生命の健康は人々が共同で愛護していかなければならないものなのです。

- 「活カステーション」では、人口の都市、物流の都市、エネルギーの都市、金融の都市、情報の都市という5つの「キオスク」があります。液晶画面が組み合わさってきた駅の表示板には、世界の重要都市の鉄道、フライト、出航日、株式、為替の状況が示され、都市の非凡な活力を体験させてくれます。
- 「循環パイプライン」では、巨大な地下のパイプラインを通り抜けます。音・光・風などの効果により、地下鉄が通りすぎるような感覚を体験できます。パイプラインには、多くの一般参加できる装置があり、都市の脆弱な一面を示し、人々が都市を保護することについて考えさせられます。
- 広い「都市広場」では、5つの世界で有名な都市広場の映像で、異なる都市文化を紹介し、世界の都市の精華を味わうことができます。
- 「生活市街」の「魂の図書館」では、10冊の本で10の都市生命の盛衰と人々の生活との関係を描きます。

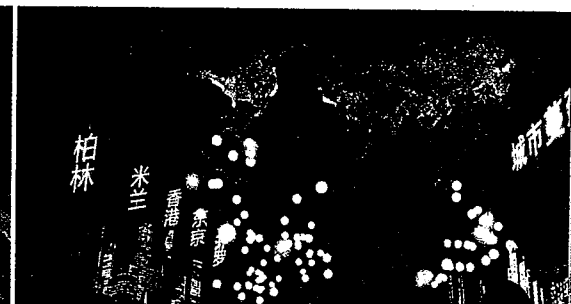


都市の惑星館

テーマ 人類・都市・地球がともに栄える共生関係

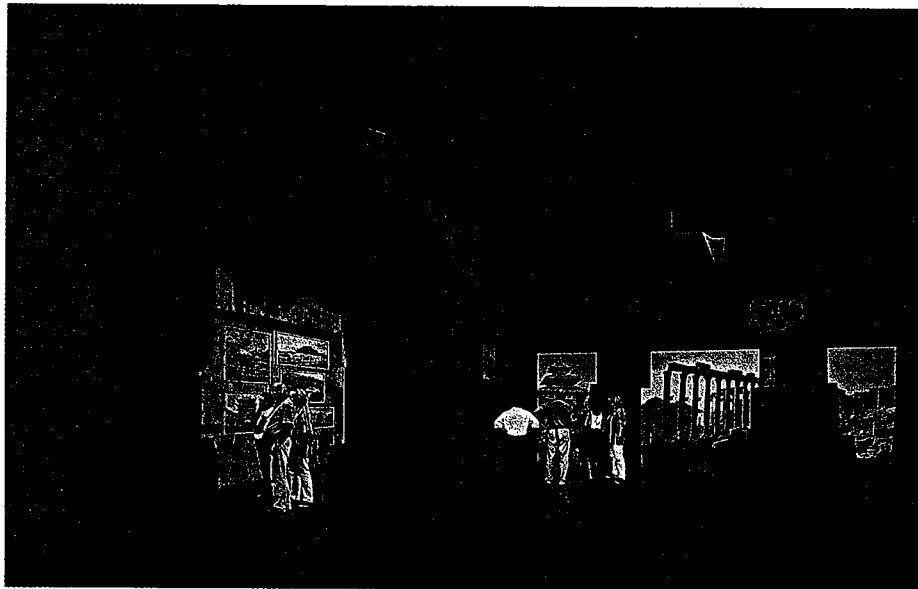
このパビリオンはBゾーンのテーマ館の中にあり、展示空間は主に2本の対称的な螺旋状の坂で、来場者はそのついでに直径32mにおよぶ巨大な球の上部をみることができます。館内には「都市の蔓延」「危機の道」「青い惑星」「解決の道」「たったひとつの地球」という5つの展示エリアがあり、都市の発展と過度な発展がもたらす環境問題、人類の都市と環境問題に対する認知・覚醒・努力が展示されます。観客は展示品や一般参加で都市が問題を引き起こしたものであると同時に解決者であることを知ることができます。

- 「青い惑星」では、巨大な球の表面に大型のマルチメディア装置が埋め込まれ、地球を俯瞰するような情景が生み出されます。そこには都市と都市の発展、人間の行為と地球との関係が示されます。
- 「たったひとつの地球」では、ドームの天井で3分ごとに1回スライド放映が行われ、都市と地球・人類との相互関係を述べます。

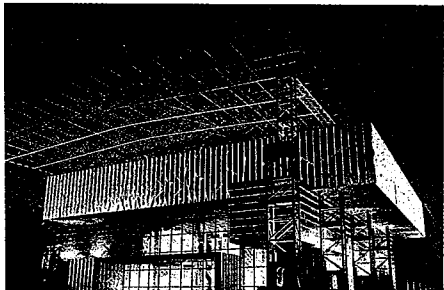


都市の足跡館

テーマ 世界都市の起源から現代文明までの過程における、人と都市と環境の発展の歴史的足跡



このパビリオンはDゾーンにあり、伝統的な展示手段と現代的な展示手段が駆使され、都市の発展を時間順に、「都市の起源」「都市の発展」「都市の智慧」という3つの展示ホールにより、都市の誕生と発展、人文と転換の都市哲理、創造と調和のとれた都市の智慧について語ります。

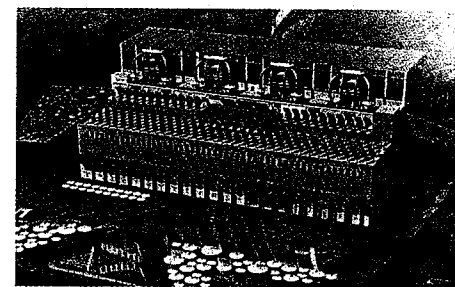


- 「都市の起源」では農耕開始初期の都市の姿を示し、都市の起源と都市の要素、中国の長江と黄河流域の都市の起源、早期人類の祭祀や信仰、都市の守護神、ギリシアのポリスの興亡などを展示します。
- 「都市の発展」では、フェレンツェ、アムステルダム、ビザンティン都市、イスタンブール、中国宋代と日本の江戸時代の市街、そしてチベット都市発展の成果、中国都市の集大成ともなる明・清代の故宮など、成熟段階にある都市の姿を展示します。
- 「都市の智慧」では産業革命時代の都市の姿を展示し、「チャプリンロボット」で工業化が都市生活を変える「諸刃の剣」であることを示し、ニューヨーク・ロンドンを実例として都市の創造と智慧、そして特色ある古い建築物で中国の京杭大運河の文化交流を展示し、さらに石庫門の変遷から上海の都市改造を示します。

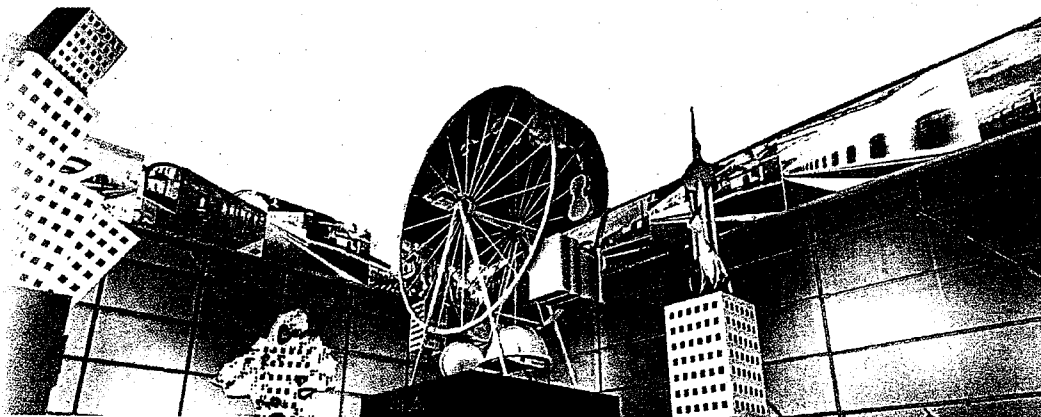
都市の未来館

テーマ 夢が人類都市の未来を率いる

このパビリオンはEゾーンにあり、館内の展示は一般参加方式によって始まり、未来都市への想像をかき立てます。そののち、映像や本や彫刻などから歴史上の人物の未来都市への夢・デザイン・実践を展示し、未来都市が今日の挑戦の上にあることを語り、未来都市のさまざまな可能性について思いをめぐらし、人類の進歩を促進する精神的要素について考えます。



- 「昨日の夢」では、高さ5mの巨大スクリーンで未来の夢を語るイメージーションフィルムを放映します。
- 「理想と実践」では、インタラクティブなバーチャルブックで人類の歴史における未来都市の描写を紹介するとともに、9つの彫刻により、より良い都市の実践を述べ、建設中の都市を表現します。
- 「さまざまな可能性」では、高さ36mの広大な空間でアニメ映画を放映し、周囲の情景に「エコシティ」「智慧の都市」「水の都市」「空の都市」「エネルギーの都市」という5つの幻想的な未来都市を出現させ、未来の都市発展と人類の都市生活のさまざまな可能性を表現します。
- 「未来は実現しつつある」では、マルチメディアや模型などによる展示で、「智慧の家」「健康的なコミュニティー」「低炭素都市」「調和のとれた環境」という4つのテーマで未来の科学技術発展の行方を探ります。

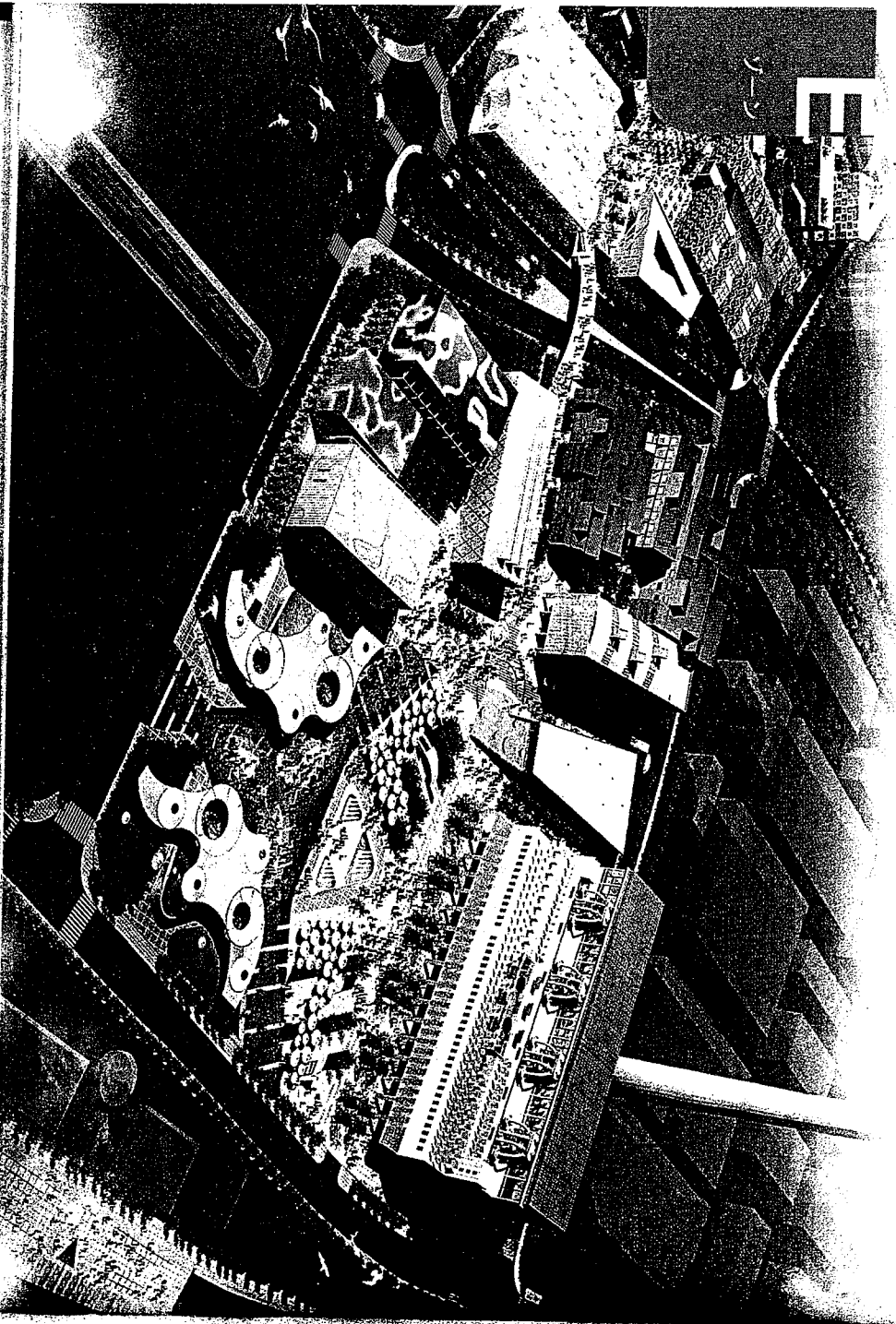


ベストシティ実践区

ベストシティ実践区は、世界を代表する都市が都市生活の質を向上させるために行った公認のさまざまな革新的実践方法を紹介し、実物展示を行うもので、世界各都市の都市建設の経験を交流させるための舞台となります。

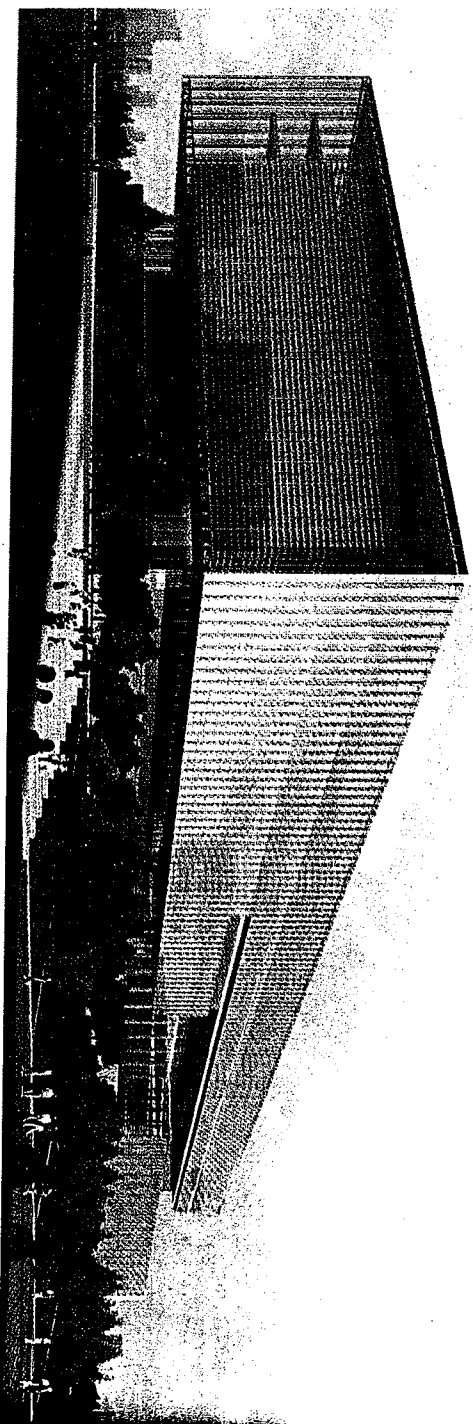
上海万博の主催者はベストシティ実践区の国際選定委員会を設置し、世界じゅうから申し込みのあった100あまりの実践例から、住みやすい家、持続可能な都市化、歴史遺産の保護と利用、既成環境の科学技術革新という4つの面から展示し、広める価値のある実践例を選び出し、上海万博のベストシティ実践区に展示します。

ベストシティ実践区は北部、中部、南部の3つの展示エリアに分けられ、北部は都市市街に似せて造られた実践例展示があり、1:1の実物模型で展示を行います。中部の実践例が古い工場の建物を改築したパビリオンで展示され、観客と都市建設の経験を分かち合います。南部の実践例は、マルチメディア、インターネット、展示板、イベント、パフォーミングなどの形により、南部実践例報告ホールで展示されます。



万博会場内には特色あるパビリオンのほか、万博センター・万博文化センター・万博軸など、会議・公演・交通・レジャー・レストラン・サービスなどの重要な機能をもつ建物があります。これらの建物は万博会場内で重要なランドマークとなり、「より良い都市、より良い生活」というテーマを表現し、記録し、解釈しているのです。

万博センター

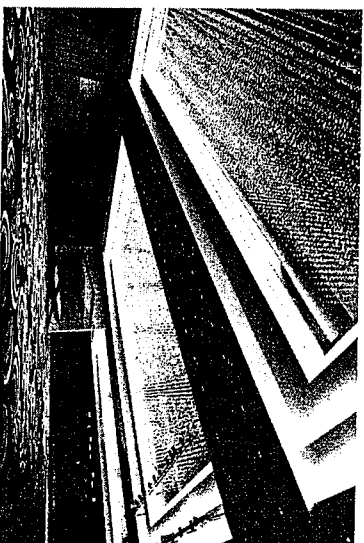


万博センターはゾーンにあり、南は万博大通り、東は万博軸に面しており、会期中、ここでサミットフォーラム、式典イベント、貴賓接待や記者会見などが行われる重要な場所です。

建物の外観は角ばった大きなガラス張りの建物で、巨大な「水晶宮」のようです。内部は会議や接待、イベントなどのさまざまな中心的機能がすべて満たされる設計となっています。

万博センターは色で空間を分けており、グリーン大ホール(中央ホール)、レッド大ホール(2600人の会議大ホール)、ブルー大ホール(600人の国際会議ホール)、ゴールド大ホール(3000人の宴会ホール)、シルバー大ホール(7200m²の多機能ホール、会期中、メインプレスセンターとして使用)などがあります。

ブルー大ホールのなかには高さ14mの大きなオートマチックドアがあり、各国元首がこの扉からさまざまなイベントに向くため、



「世界の門」と呼ばれています。

環境にやさしい建築モデルとして、万博センターの建築にはソーラー発電、LED照明、水蓄冷、川の水源、地熱発電、雨水利用装置などの先進技術が広く使われています。

万博センターの環境技術や低炭素排出は、万博の技術と理念を示すもので、上海万博が未来都市建設にこもたらす貴重な遺産となるでしょう。